

キルギス共和国非常事態省との消防防災分野に係る協力覚書の締結

参事官

【はじめに】

キルギス共和国は、北はカザフスタン共和国、西は中華人民共和国に囲まれ、1991年に旧ソビエト連邦から独立した人口約540万人の国です。国土の約95%が山地でそのうち40%が3000m以上の高山です。国内全域で地震、地滑り、雪崩、洪水等の様々な自然災害が多数発生しています。



昨年7月には、世界防災閣僚会議in東北に同国のボロノフ非常事態大臣が出席されるとともに、昨年11月には、「中央アジア+日本」対話第4回外相会合にアブディルダエフ外務大臣が出席され、防災協力について議論がなされたところです。

このような中、アタムバエフ大統領の2月26日から3月1日の訪日に合わせて、消防防災分野を含む3分野について我が国への協力要請がありました。消防庁では、この要請を受けて、去る2月27日、岡崎消防庁長官とモロドガジエフ駐日キルギス大使が消防庁で会談し、消防防災分野に係る協力覚書に署名しました。その概要については、以下のとおりです。

【会談の概要】

覚書の署名に先立って行われた会談では、岡崎長官からモロドガジエフ大使に対して、東日本大震災における同国からの支援について改めて感謝を述べました。これに対して、モロドガジエフ大使は、キルギス国民は東日本大震災での日本の消防隊員の活躍に非常に感動したところであり、東日本大震災の経験も含め、日本の消防の技術や経験を学びたいと述べられました。

【覚書の概要】

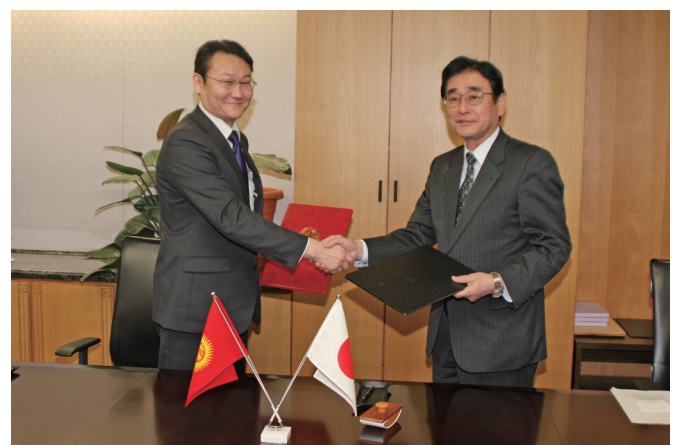
キルギス共和国の消防防災力向上のため、以下の事項について、同国非常事態省と相互協力を行う覚書に署名しました。

- ・消防防災分野に係る情報交換
- ・自然災害に関連したセミナー等の共同開催
- ・研修受入れ等を通じた人的交流 等

なお、具体的な協力の内容は今後検討していくこととしています。



署名の様子 右：岡崎長官、左：モロドガジエフ大使



覚書の交換

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 永野
TEL: 03-5253-7507